

21回生涯学習フェスティバル

9月24日、25日をメイン開催日として中央公民館などを会場に実施し、約1万3千人が来場しました。

中央公民館では、大館工業高校や自然の会の協力で「ものづくり体験コーナー」を実施したところ、手回し発電機や自然の草花を使った壁飾り、廃木材を使った玩具などを親子で楽しく製作する姿が数多く見られました。

また、各サークルの活動成果発表をはじめ、小学生対象の達人講座の作品展示やお茶会でのお点前など、子どもたちの日頃の活動の成果を披露する良い機会にもなりました。



オープニングの十二所天鳴太鼓

放射性セシウムを含む焼却灰の取り扱い

放射性セシウムが含まれていたことにより中断している県外自治体からの一般廃棄物の焼却灰の受け入れについては、花岡地区で説明会を開催したほか、反対を表明する市民団体が開く説明会へも出席し、方針を説明して、広く意見を伺いました。これらの説明会では「国の基準値以下であっても、搬入を継続することで危険を伴わない

か」「最終処分場からの放流水や地下水に混入するのではないか」「大きな地震が発生したら管理できないのではないか」など、不安を訴える声が多く、受け入れ再開には反対との意見が大半を占めていました。また、電話やメールなどでも多くの反対の声が寄せられています。こうした状況を踏まえ、10月21日、秋田県及び小坂町と共に環境省へ出向いて現状を伝え、国が明確に方針を示し、関与すべきと強く要望してきたところですが、現段階では、搬入再開について市民の理解が得られているとは言えず、再開はできないと考えています。

10月26日、地震被害を想定した災害時トリアージ訓練を実施しました。県内陸北部を震源に、マグニチュード8程度の地震が発生したと想定し、ライフラインの確認や院内の被害状況の連絡、入院・外来患者の安全確認、空きベッドの確認と職員の動員決定などの初動訓練、そして救急車を使っての患者の受け入れ、トリアージ、応急治療、入院搬送まで、約3時間、延べ100人の職員が参加して行いました。

総合病院災害時トリアージ訓練の実施

課題も指摘されましたが、職員一人ひとりが、災害時の病院の役割や各自がすることを真剣に考える機会になり、また、今回の反省点を生かし災害対応マニュアルを整備するとともに、災害

に備えた人的・物的体制等も整備したいと考えています。



治療の優先度を定めるトリアージ訓練

公共事業の進捗状況

主な事業の11月末の進捗状況は、道路関連では二井田片貝沼田線(線越分)の進捗率が20%、釈迦内松木立花線が10%となっています。

公園整備事業では、長根山陸上競技場観覧席改修工事等の進捗率が70%となり、3月に完了する予定です。

教育関連では田代中学校耐震補強工事が10月末で完了し、城南小学校耐震補強工事は進捗率が90%で、1月に完了する予定です。

また十二所公民館改築事業では、現在、本体工事を行っており、進捗率は70%で、1月末に完了する予定です。水道事業では、山館地区内の配水管布設替工事が完了し、前田野団地・有浦・東台地区内の配水管布設替工事は進

捗率が80%、橋桁地区の水道未普及地域解消事業工事及び釈迦内地区緊急時連絡管整備工事が80%、中山取水場高圧受電盤取替工事等が90%となっています。

小中学校の耐震対策

平成17年度に実施した優先度調査の結果を受けて、本年度は城南小学校校舎と田代中学校普通教室棟で補強工事を実施し、本年度末の耐震化率は61.7%になる予定です。今後、30年度をめどに、全ての耐震対策工事を終えたいと考えています。

診断の結果、「大規模な地震による倒壊の危険性が高い」とされ、現在、使用禁止の成章中学校体育館及び第一中学校第二体育館については、来年度の改築を予定しています。

そのほかの報告

- ・ 暴力団排除条例の制定
- ・ 平成23年の農業
- ・ 北地区コミュニティセンターの開設
- ・ 川口十三森遺跡現地見学会
- ・ 総合病院人工透析室改修工事
- ・ 住宅用火災警報器の設置状況
- ・ 自主防災組織設立の取り組み